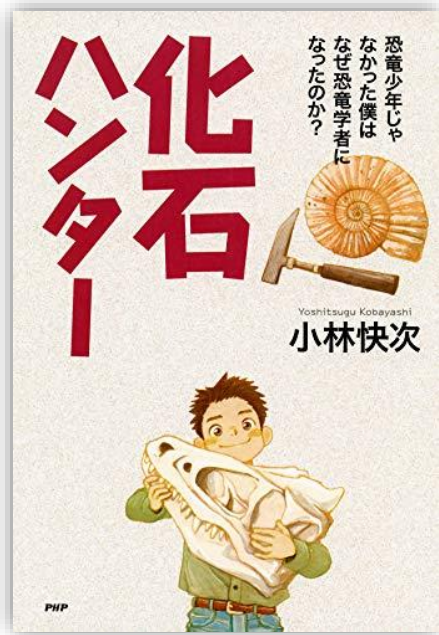


こんな本を読んでみました



タイトル 化石ハンター
著者 小林快次
出版 PHP研究所 2019年

「三日坊主」がおすすめ？ 恐竜学者の小林快次さんは、やってみて自分に向いてないと確認できる三日坊主をすごくいいことだと思っています。ちょっと安心できますね。

恐竜学者になる人は小さな時から恐竜が大好きで、図鑑にのっている恐竜の名前を覚えている印象がありますが、著者はひと味違います。恐竜というテーマ出会うまでに迷走した著者は、最後までやり通さなければいけないと思いつめずに、「軽い気持ちでやってみる」ことを提案しています。

それは私にとって目の前のハードルが低くなっていくステキな提案でした。肩の力を抜いて、いろいろと挑戦していきたくなる本です。

呉市の歴史と関わりが深い「海」に関する所蔵資料を紹介します。



海の文庫



タイトル 水族館が好きすぎて！
著者 まつおるか
出版 KADOKAWA 2020年

みなさんは水族館にいる生き物たちのことを、どのくらいご存じでしょうか。

ペンギンが爆走しとる？
カピバラはなんで水族館におるん？
ウニはなに食べるねん？
海の生き物の謎, その答えが 関西弁で この本の中に！

テンポの良い掛け合いのわかりやすい解説とかわい絵。でも、科学的な知識もたっぷり。生き物に詳しくなって水族館に行くと、今までと違った見方ができておもしろそうですね。

なかなか外出も難しく、水族館にも行けないかもしれませんが、絵を見ているだけでも癒やされます。お子様にも、普段あまり本を読まない大人の方にもおすすめです。